

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パークホームズ大通公園コンフォートプレミア	階数	地上12F
建設地	札幌市中央区大通西15丁目3-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	66人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 竣工	評価の実施日	2015年11月16日
敷地面積	487㎡	作成者	石川克彦
建築面積	256㎡	確認日	2015年11月27日
延床面積	2,421㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 74% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 74%

④上記+: 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>・大通公園に近接する立地故にまちなみ・景観に配慮している。風景と調和するファサードデザインとし、エントランスには札幌の歴史を象徴する札幌軟石を採用している。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>・日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級3を取得している。</p> <p>・効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>・乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。</p> <p>・ODP=0、GWP&lt;10の断熱材を使用している。</p> <p>・地球温暖化対策の取組みによりLCCO<sub>2</sub>排出率が74%となっている。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>・基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。</p>
	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>・十分なゴミステーションスペースを確保している。</p> <p>・敷地内及び一部歩道をロードヒーティングとし、冬期間の除排雪作業の軽減に努めている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される